

令和5年3月24日

君津市議会議長 三浦 章 様

会派名 令和新政

氏 名 宇野 晋平

講習会（セミナー）参加報告書

日 時：令和4年10月28日 10時00分～16時30分

演 題：地方議員のための RESAS 活用：基礎編 及び 応用編

講 師：榎並利博

場 所：リファレンス新有楽町ビル

1 概 要

地方議員研究会主催の「地方議員のための RESAS 活用」というセミナーに参加した。RESAS (Regional Economy Society Analyzing System) とは、地方創生を情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供している地域経済分析システムである。産業構造や人口動態、人流などの官民ビッグデータを集約、可視化できるため、施策の立案や検証のためなどに利用されている。

富士通総研の経済研究所で電子政府・電子自治体・マイナンバー等の研究を経て、行政システム株式会社行政システム顧問を勤める榎並利博氏が講師を担当し、RESAS の操作方法や活用方法などについて解説いただいた。

2 所 感

RESAS は、人口マップ、地域経済循環マップ、産業構造マップ、企業活動マップ、観光マップ、まちづくりマップ、雇用／医療・福祉マップ、地方財政マップという8種類の分析メニューから構成される。

人口の転入・転出、将来人口推計、財政力指数の推移、人口当たりの職員数

の推移、目的別決算額の構成比、一人当たりの税額の推移、産業構造、要介護（要支援）認定者数の推移などの地域状況の概観を即座に図表の形に可視化することにより、その把握を容易にし、対策の方向性を検討するための基礎的な分析を行える点で、有益なツールであると感じた。

一方で、地域経済循環マップにおいては、付加価値の流れとお金の流れを区分していないため、お金の流れの全体像をつかめないこと、地域経済循環率は経済活動の帰結であり、地域経済循環率が上昇しても人口1人あたり所得が増大するわけではないことといった問題点が指摘されており、与えられるデータの活用については、さらなる調査研究の必要性を感じた。

最後に、下記のデータを添えて、セミナー参加報告とさせていただきます。

- ・地域経済分析システム（RESAS：リーサス）の概要
- ・地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧

（出典：内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 内閣府 地方創生推進室）

以下、サマリー機能を用いて宇野が作成

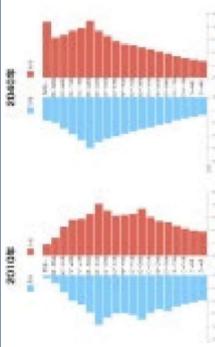
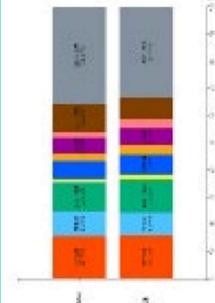
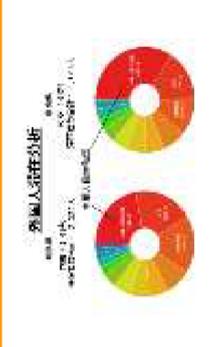
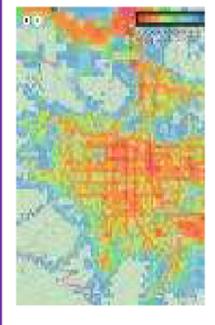
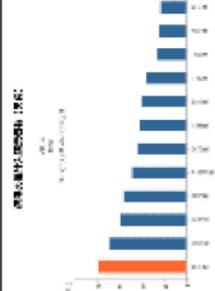
- ・ Summary1 総論①人口
- ・ Summary2 総論②産業
- ・ Summary3 各論①人口増減・地域間流動
- ・ Summary4 各論②産業特性（製造業）
- ・ Summary5 各論③産業特性（小売業）
- ・ Summary6 各論④産業特性（農業）
- ・ Summary7 各論⑤産業特性（林業）
- ・ Summary8 各論⑥産業特性（水産業）
- ・ Summary9 各論⑦観光
- ・ Summary10 各論⑧雇用
- ・ Summary11 各論⑨医療・福祉
- ・ Summary12 各論⑩地方財政

以上

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）の概要

- 地域経済を活性化する上で、地域の現状・実態の正確な把握が必要不可欠。
- このため、地域経済に関連する様々なビッグデータを「見える化」するシステム（RESAS）を構築し、地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月より提供。
- 地域のデータ分析の「入り口」として、**初心者でも簡単に使えるシステムを実現**。各自治体が「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIを設定する際など、地域政策の現場で幅広く活用。

地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧

<p>①人口マップ</p> 	<p>②地域経済循環マップ</p> 	<p>③産業構造マップ</p> 	<p>④企業活動マップ</p> 	<p>⑤消費マップ</p> 
<p>人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能</p>	<p>自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能</p>	<p>地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能</p>	<p>地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能</p>	<p>POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能</p>
<p>⑥観光マップ</p> 	<p>⑦まちづくりマップ</p> 	<p>⑧医療・福祉マップ</p> 	<p>⑨地方財政マップ</p> 	<p>総メニュースターの推移</p> <p>＜スタート時＞ <現在＞</p> <p>25メニースター (2015年) ↑ 86メニースター (2023年3月)</p> <p>約358万PV (2015年度) 約873万PV (2021年度)</p> <p>※現在公開中のメニースター数</p>
<p>国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能</p>	<p>人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報が把握可能</p>	<p>地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能</p>	<p>各自治体の財政状況が把握可能</p>	

地域経済分析システム (RESAS) マップ一覧

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

3. 産業構造マップ

<全産業>

- 3-1-1. 全産業の構造
- 3-1-2. 稼働力分析
- 3-1-3. 企業数
- 3-1-4. 事業所数
- 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
- 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
- 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)

<製造業>

- 3-2-1. 製造業の構造
- 3-2-2. 製造業の比較
- 3-2-3. 製造品出荷額等

<小売・卸売業>

- 3-3-1. 商業の構造
- 3-3-2. 商業の比較
- 3-3-3. 年間商品販売額

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

<雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者構造分析
- 3-7-4. 求人情報の比較

<エネルギー>

3-8. エネルギー消費分析

4. 企業活動マップ

<企業情報>

- 4-1-1. 表彰・補助金採択
- 4-1-2. 創業比率
- 4-1-3. 黒字赤字企業比率
- 4-1-4. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向 (POSデータ)
- 5-2. From-to分析 (POSデータ)
- 5-3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-5. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-6. 外国人消費の構造 (免税取引)

- 5-7. キャッシュレス加盟店数 (ポイント還元事業)
- 5-8. キャッシュレス決済データ (ポイント還元事業)

6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析 (宿泊者)
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動相関分析
- 6-9. 外国人経路分析

7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析 (滞在人口)
- 7-2. 滞在人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析
- 7-10. 社会教育施設・講座利用状況

7-1-1. 都市構造の分析 (人口動向)

8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

凡例

赤字 : 2023年3月16日新規メニュー追加箇所

総論① 人口

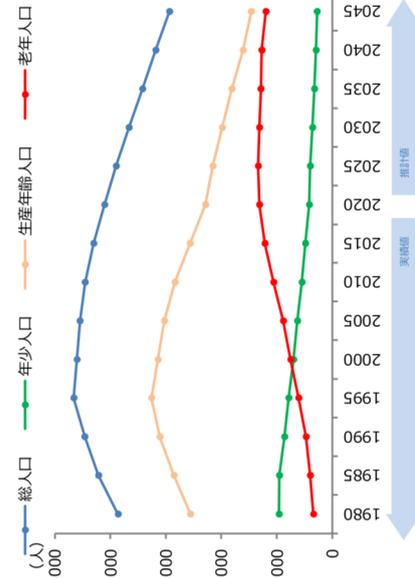
地域を考える基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を概観します。

千葉県君津市

①人口推移

人口マツプ>>人口構成 → 「人口推移」

- ・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
- ・「総人口のピーク」「老年人口の増加傾向」等、自地域の人口変化の概要を把握できます。

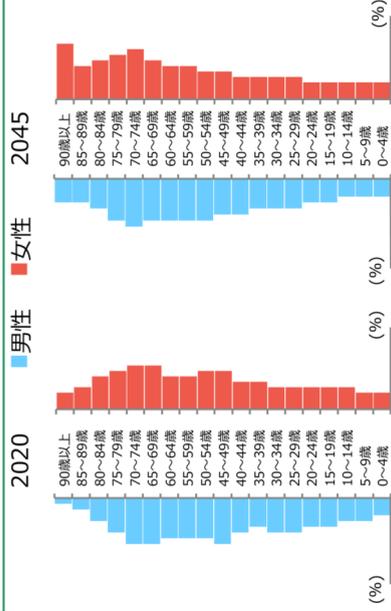


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②人口ピラミッド

人口マツプ>>人口構成 → 「人口ピラミッド」

- ・男女別・5歳階級別にピラミッドで表示しています。
- ・将来の高齢者層の大きさ、生産年齢人口の減少等も視覚的に把握することができます。

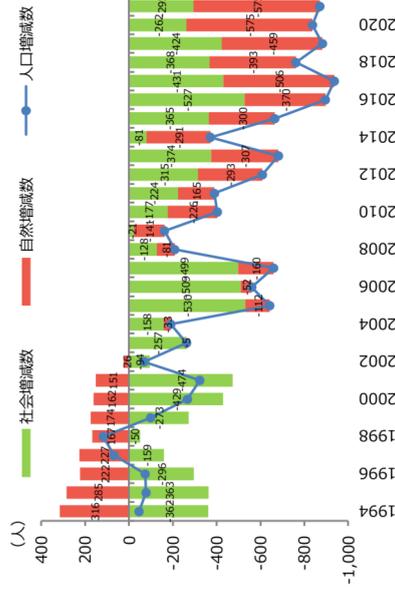


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③自然増減・社会増減の推移

人口マツプ>>人口増減 → 「グラフを表示」

- ・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



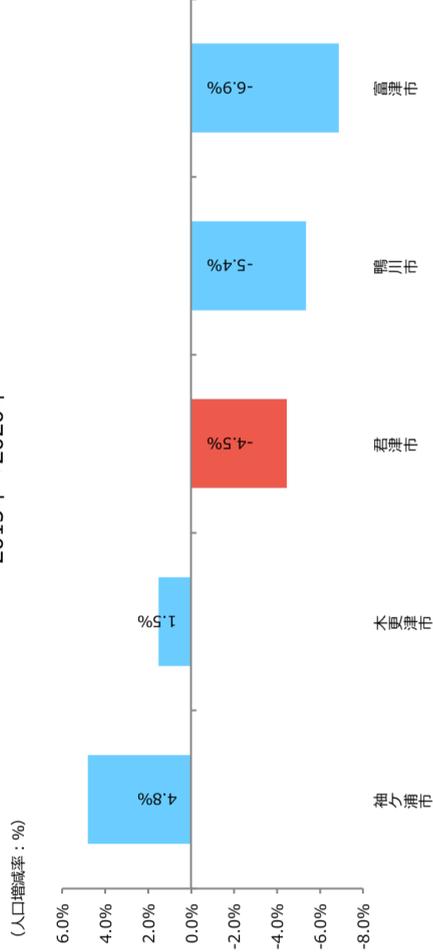
【出典】総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数調査「再編加工」
 【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

④人口増減率の比較

人口マツプ>>人口増減 → 「グラフ・ドーター」で作成

- ・人口増減率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・人口増減の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2015年→2020年



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

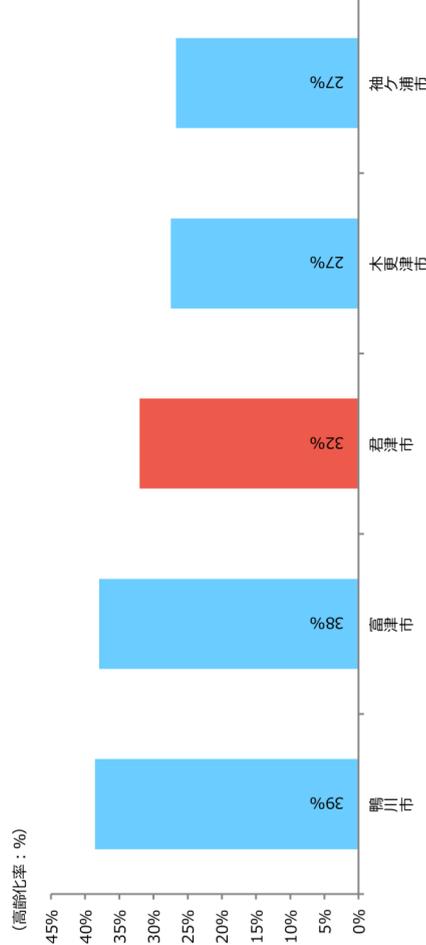
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤高齢化率の比較

人口マツプ>>人口構成 → 「グラフ・ドーター」で作成

- ・高齢化率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・高齢化の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2020年



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

各論① 人口増減・地域間流動

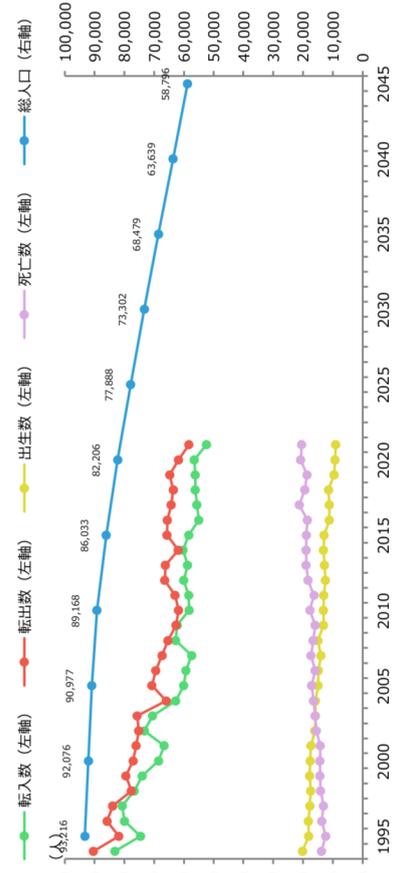
転入・転出、通勤通学による人口流動等、周辺地域とのつながりを人口の面から概観します。

千葉県君津市

① 出生数・死亡数 / 転入数・転出数

人口マップ>>人口増減 → クラフを表示

- ・総人口の増減要因である、出生数・死亡数・転入数・転出数の推移を示しています。
- ・出生数と死亡数の推移から自然増減への対策、転入数・転出数の推移から社会増減への対策等、人口増減に対する政策検討の方向性を検討する基礎的な材料となります。

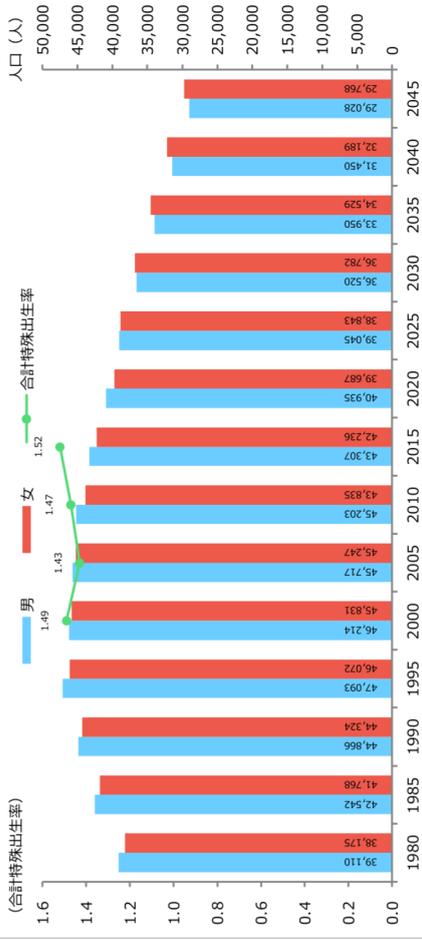


【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査
 【注記】2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

② 男女別人口・合計特殊出生率の推移

人口マップ>>人口の自然増減 → 「合計特殊出生率と人口推移」

- ・男女別の人口推移と合計特殊出生率を示しています。
- ・合計特殊出生率は自然増減（出生数）に直結する指標であり、低下傾向にある場合には、婚姻率の向上、女性の地元定住促進、子育て支援等、政策面での対応が必要と考えられます。

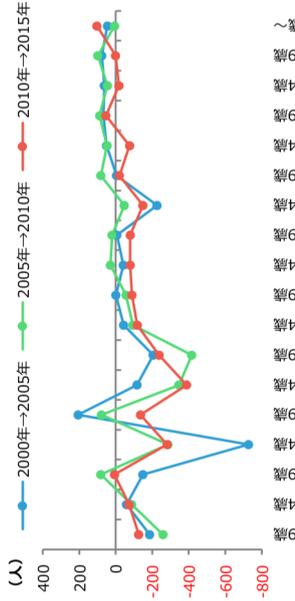


【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③ 年齢階級別純移動数の時系列推移

人口マップ>>人口の社会増減 → 「人口移動（クラフ分析）」

- ・社会増減の状況を年齢階級別に示しています。
- ・自地域の労働力に大きな影響を与える生産年齢層の社会移動の経年変化等を把握できます。

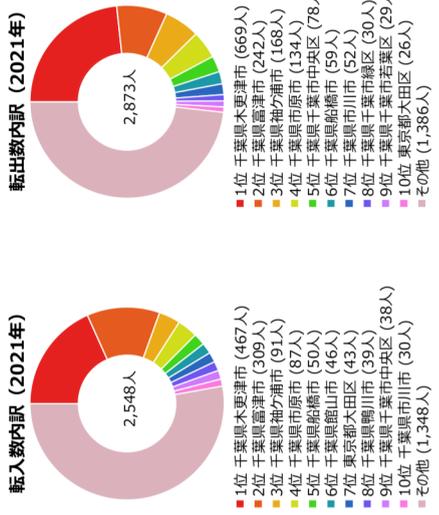


【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「労働力調査」に基づき作成。クラフは作成されません。
 ※表示対象データがない場合、クラフは作成されません。

④ 転入数・転出数の上位地域

人口マップ>>人口の社会増減 → 「From-to（転入人口）」

- ・直近時点で転入数・転出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

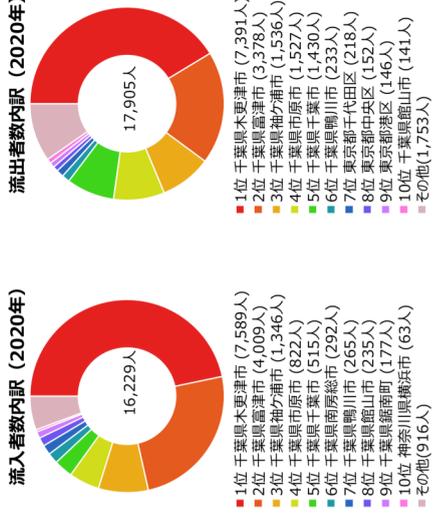


【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

⑤ 流入者数・流出者数の上位地域

人口マップ>>人口の社会増減 → 「地域間流動をクラフで見る」

- ・直近時点で流入数・流出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。



【出典】総務省「国勢調査」

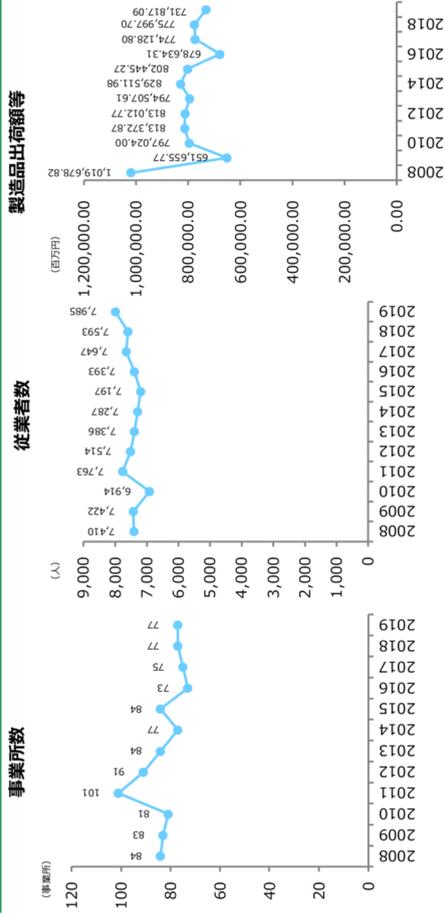
各論② 産業特性（製造業）

製造業の特徴を、規模・稼働率・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

千葉県君津市

① 事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移

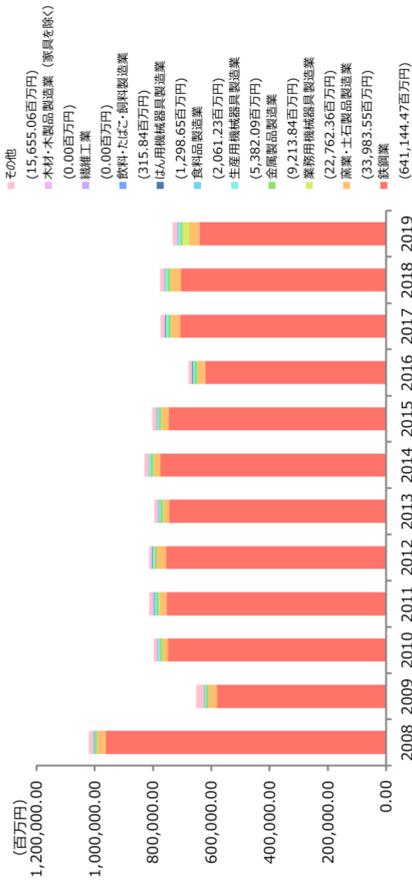
・製造業全体の事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移を概観します。



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

② 産業別製造品出荷額等の変化

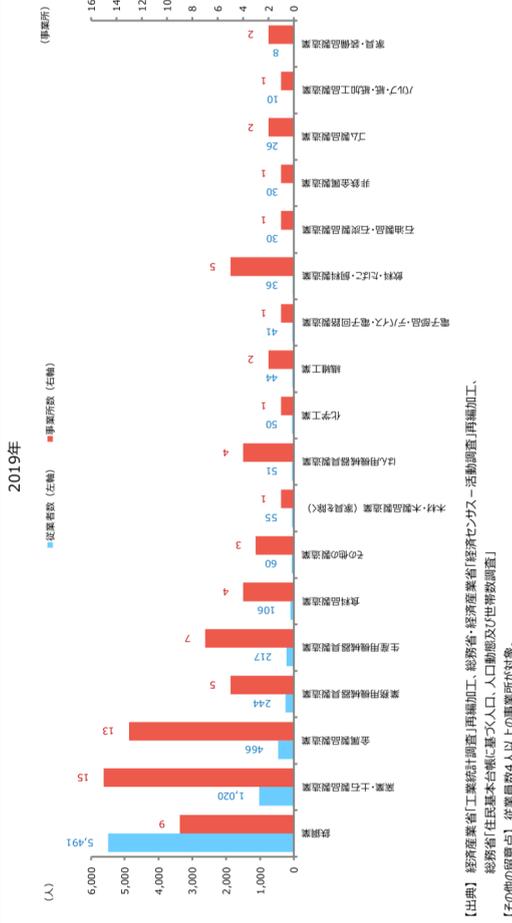
・産業中分類別の製造品出荷額等の推移を示しています。
・出荷額の大きな産業の把握や各産業における製造品出荷額等の増加・減少傾向を概観できます。



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【注記】凡例の数値は最新年の数値を指す。
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

③ 産業中分類別従業員数・事業所数

・自地域における製造業の産業中分類別従業員数および事業所数を概観します。
・従業員数が多く事業所数の少ない産業は、一般に大規模工場等の存在する産業となります。

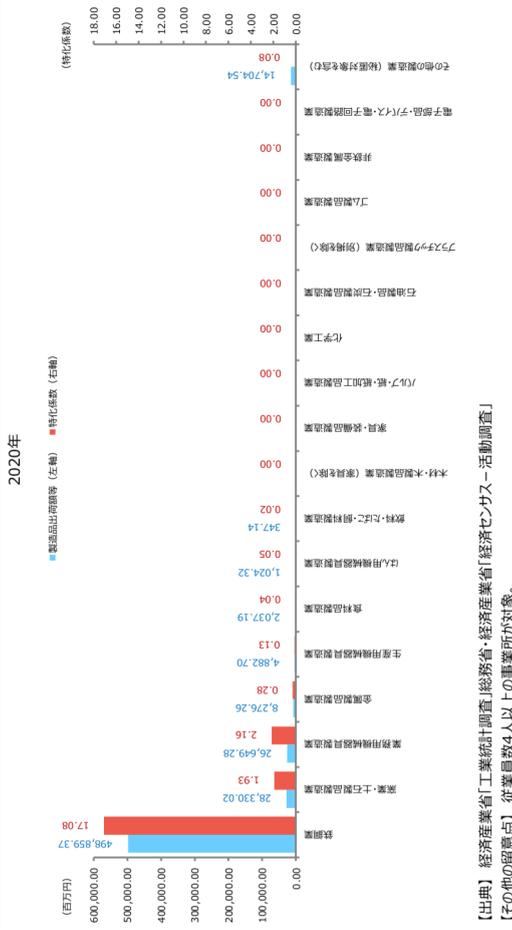


【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

※表示対象が一桁がない場合、グラフは作成されません。

④ 産業中分類別製造品出荷額等

・自地域において出荷額規模の大きな産業を概観します。出荷額が大きく、かつ特化係数が1よりも大きな産業は、規模・構成比の両面で主要な産業となっています。



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

各論③ 産業特性 (小売業)

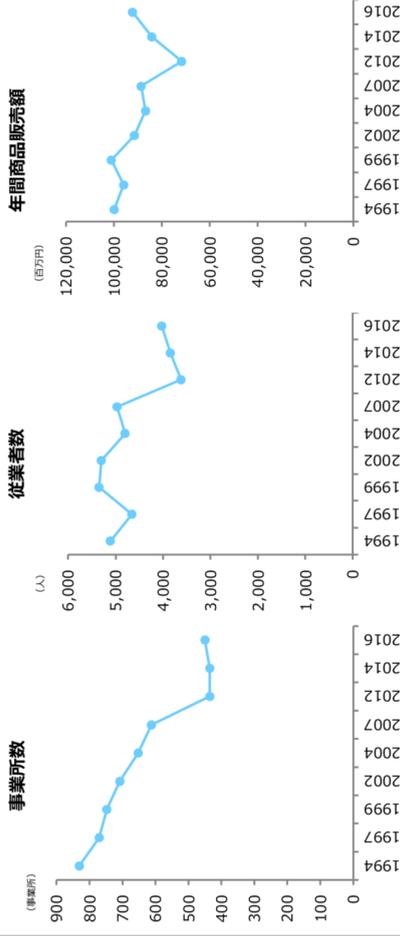
小売業の特徴を、規模・稼働力・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

千葉県君津市

① 事業所数・従業員数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業 (消費) > 商業の構造 → ① 「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業員数、年間商品販売額の推移を概観します。

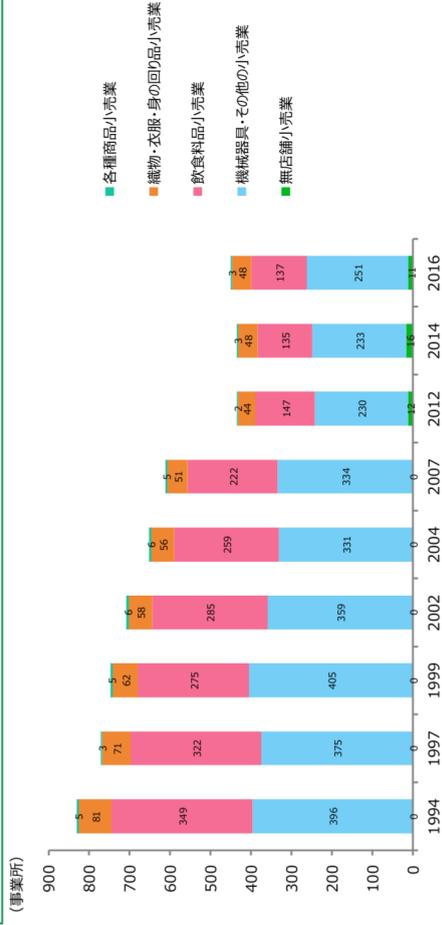


【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間 (表示年) の比較が行えない。

② 産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業 (消費) > 商業の構造 → ② 「産業構造変化を分析」

・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。
 ・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。

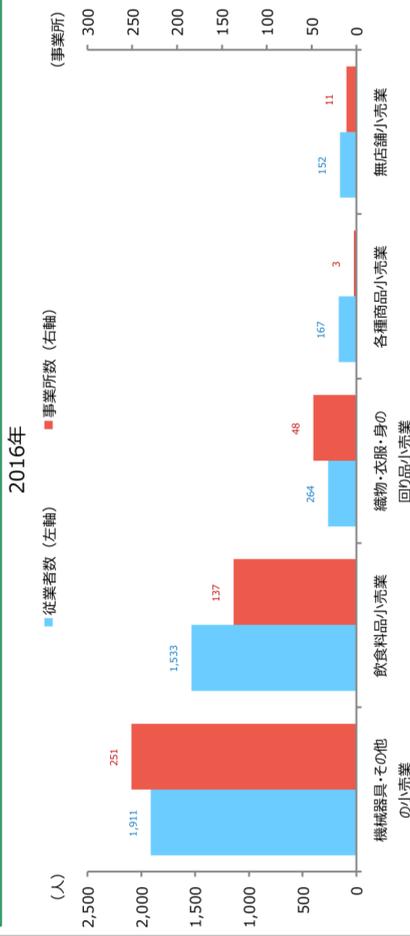


【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間 (表示年) の比較が行えない。

③ 産業中分類別従業員数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業 (消費) > 商業の構造 → (グラフオーダーより作成)

・地域小売業の産業中分類別従業員数および事業所数を概観します。



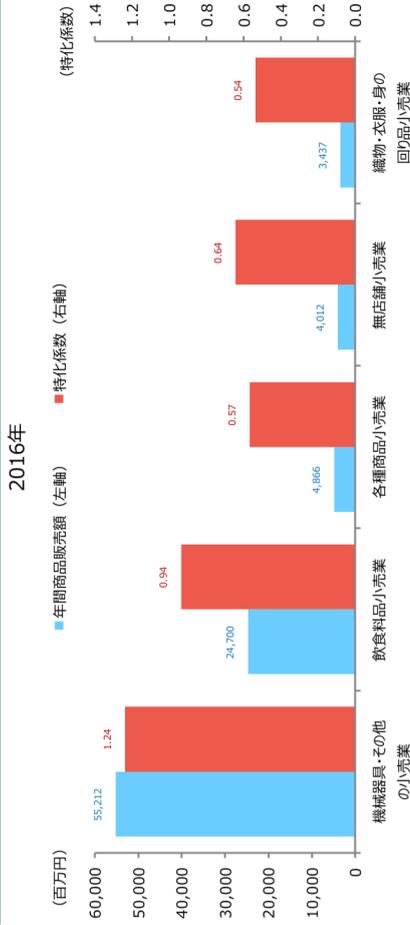
【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④ 産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業 (消費) > 商業の構造 → (グラフオーダーより作成)

・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、地域において販売額規模の大きな産業を概観します。
 ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

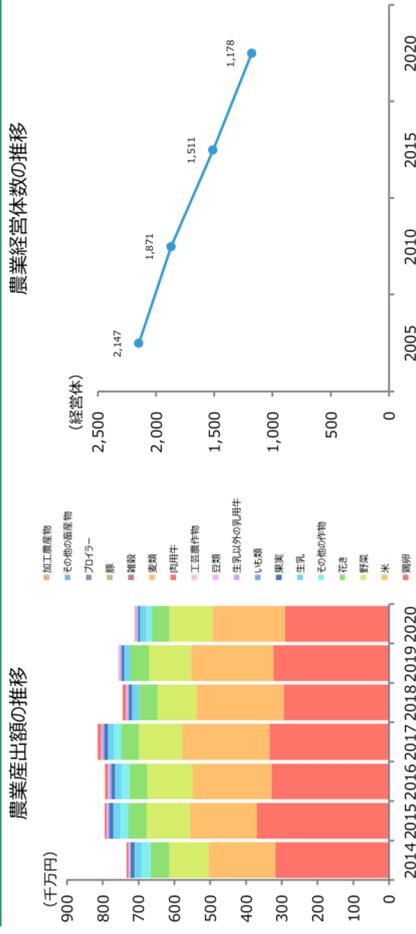
各論④ 産業特性（農業）

品目別農業産出額、就業人口、経営体規模等の観点から農業の特徴を概観します。

千葉県君津市

① 農業産出額・農業経営体数の推移

- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。



【出典】 農業産出額（都道府県単位） 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 農業産出額（市区町村単位） 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」
 農業経営体数 農林水産省「農業センサス」再編加工

② 品目別農業産出額

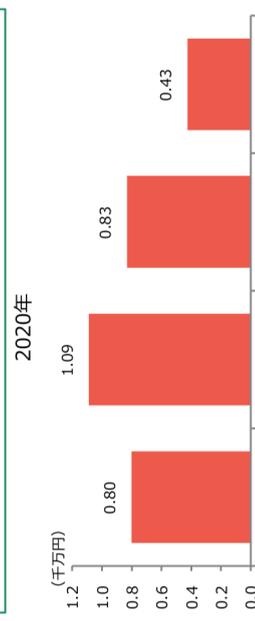
- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業生産額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。



【出典】 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」
 【注記】 「その他の農産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市区町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ブドウ」を減じた値を含む。

③ 経営体あたり農業産出額（地域間比較）

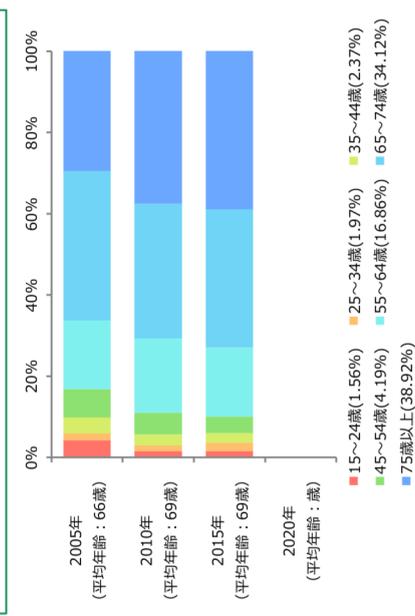
- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。



【出典】 農林水産省「農業センサス」
 全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」
 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」
 【注記】 1 経営体当たりの農業産出額は、農業産出額を農業経営体数（家族経営体、組織経営体の合計）で除いた試算値である。
 農業経営体には、既廃止の経営体を含む。

④ 年齢階級別農業就業者比率と平均年齢

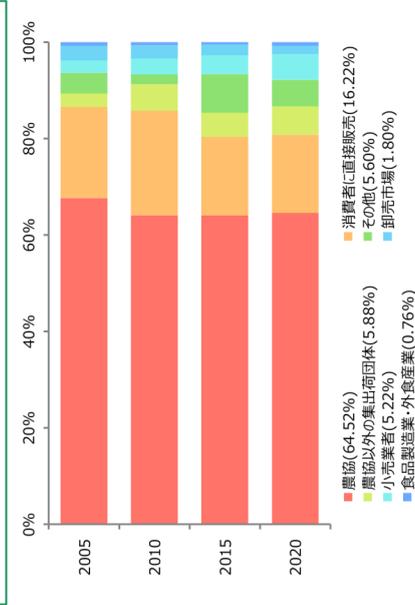
- ・年齢階級別にみた農業就業者数を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。



【出典】 農林水産省「農業センサス」再編加工
 【注記】 農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した出稼員
 凡例の数値は最新年の数値を指す。

⑤ 農産物の出荷先経営体数割合の推移

- ・農作物の出荷先にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。



【出典】 農林水産省「農業センサス」再編加工
 【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

各論⑥ 産業特性（水産業）

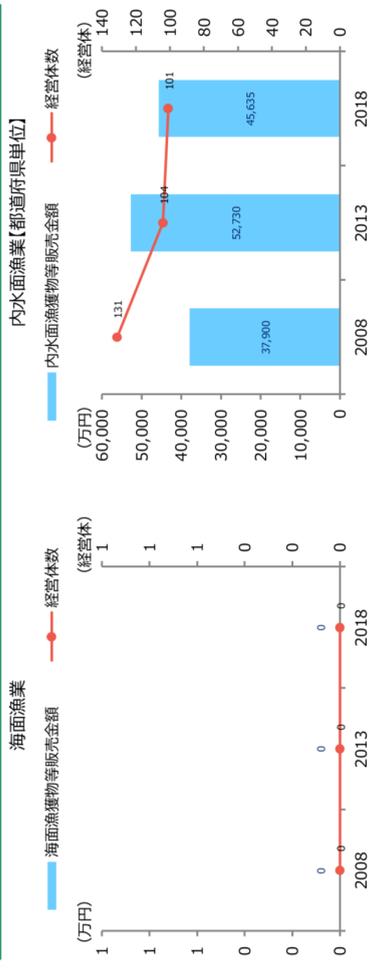
海面・内水面漁業の特徴を、販売金額・経営体数等により概観します。

千葉県君津市

① 漁獲物等販売金額・漁業経営体数の推移

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)

- 海面漁獲物等販売金額と経営体数、および内水面漁獲物等販売金額と経営体数の推移を表示しています。
- 拡大・縮小傾向を、販売金額と経営体数の変化から概観します。

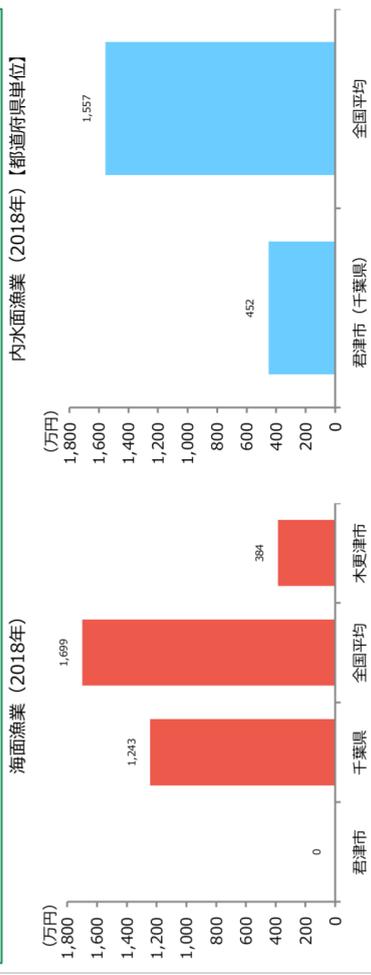


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収穫物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。

② 経営体あたり漁獲物等販売金額（地域間比較）

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、経営体あたりの漁獲物等販売金額を比較します。
- 自地域の水産業の生産性の高低を概観できます。

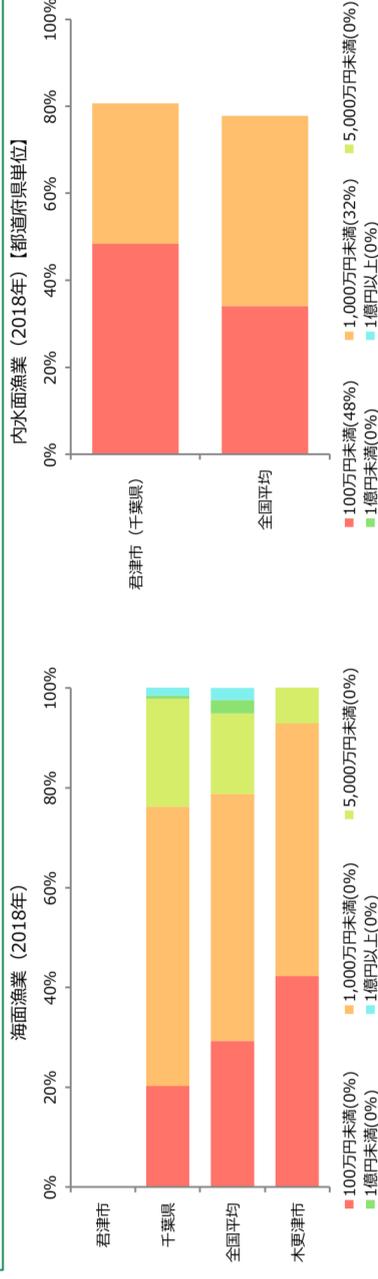


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収穫物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。

③ 漁獲物等販売金額帯別経営体割合（地域間比較）

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、漁獲物等販売金額帯別にみた経営体の構成比を地域間で比較します。
- 自地域の経営体の経営規模を販売金額の大きさの観点から概観できます。

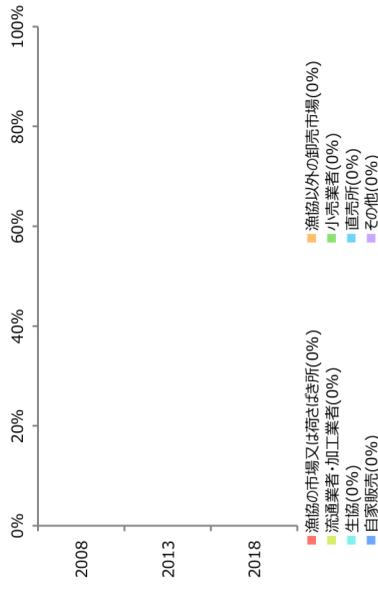


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収穫物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。
凡例の数値は速報地域の数値を指す。

④ 海面漁獲物等出荷先別経営体数の割合

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → クラフを表示 (クワロ-データより作成)

- 海面漁獲物の出荷先別経営体数割合の推移を示しています。
- 販路拡大、流通チャネル分析等の基礎となる情報です。



【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

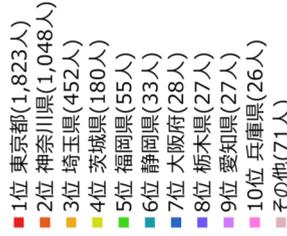
①(日本人)休日14時に指定地域に滞在した人口の居住都道府県別割合

※50万円未満・From-to分析 (滞在人口) → クラウド表示

- ・休日14時に自地域に滞在した県外居住者について居住都道府県別構成比を示しています。
- ・休日中にどこからの訪問者が多いのかを把握できます。

滞在人口合計：73,041人 (うち県外居住者：3,770人 県外割合：5.16%) (2022年6月・休日14時)

県外居住者の地域別構成割合



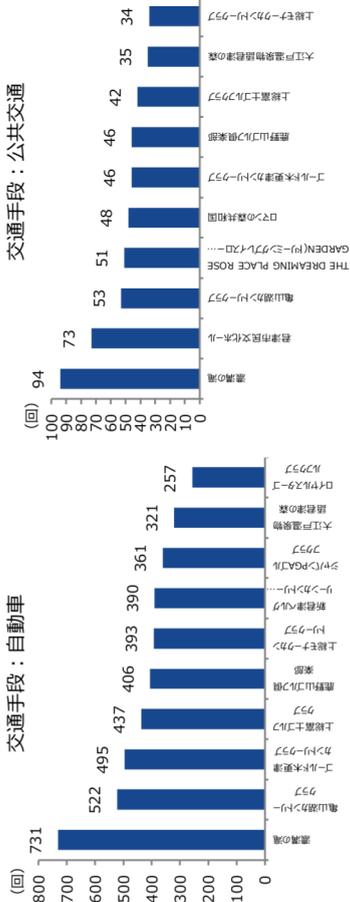
【注記】 滞在人口とは、指定地域の指定時間 (4時、10時、14時、20時) に滞在していた人数の月間平均値 (平日・休日別) を表している。
 滞在人口率は、滞在人口 (株式会社NTTドコモ・株式会社NTTエス・株式会社NTTコム・インサイタマーケティングモバイル空間統計®) ÷ 国勢調査人口 (総務省「国勢調査」夜間人口) で表される。
 15歳以上90歳未満の人口を対象。
 携帯電話の運用ユーザーについては国籍に関わらず契約者のデータが使用されていることから、滞在人口の算出には国内に居住する外国人も推計して含まれている。

②観光施設等を目的地とした検索回数ランキング

観光マップ>目的地的分析 → 「目的地的検索ランキング」を表示

- ・自地域の観光施設等で、経路検索サービスにおいて目的地的として検索された回数の多いものを表示します。
- ・自地域において集客力のある観光施設を把握できます。

2021年 (休日)



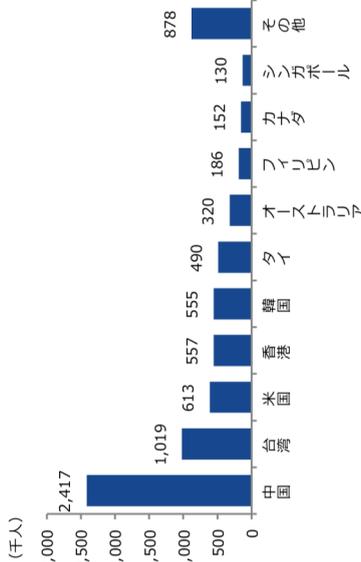
【出典】 株式会社セブコム「経路検索条件データ」
 検索回数は、同一ユーザーの重複を除いた月間のユーザー数。下記条件に全て該当した場合のみ表示。
 ・施設分類が「観光資源」(宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるリゾート施設や商業施設に該当)
 ・年間検索回数が自動車50回、公共交通は30回以上
 ・年間検索回数が全国1,000位以内または都道府県別150位以内または市区町村別10位以内

③(外国人)指定地域への国・地域別外国人訪問客数(都道府県単位)

観光マップ>外国人訪問分析 → 「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人訪問客数を国・地域別に示しています。
- ・どこからの訪問客が多いのかを概観できます。

2019年



【出典】 観光庁「訪日外国人消費動向調査」, 日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数」
 【注記】 「地域の訪日外客数 = 地域の訪問客数(観光レジャー目的) × 訪日外客数 × 旅行目的別構成比(観光、レジャー目的)」により推計している。

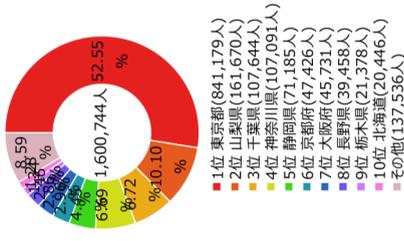
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④(外国人)指定地域への移動相関分析(都道府県単位)

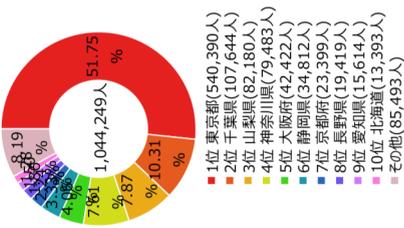
観光マップ>外国人移動相関分析 → 「グラフを表示」

- ・自地域に滞在した外国人訪問客が、直前・直後に滞在していた地域を示しています。周遊ルート等の検討に活用できる情報です。

直前に滞在した地域 (2019年)



直後に滞在した地域 (2019年)



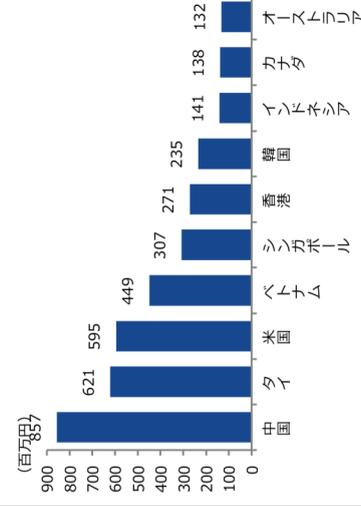
【出典】 国土交通省「FF-Data (訪日外国人流動データ)」

⑤(外国人)指定地域内での国・地域別消費額(都道府県単位)

観光マップ>外国人消費の比較 (クレジットカード) → 「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人によるクレジットカード消費額を国・地域別に示しています。
- ・どの国・地域からの訪問客による消費が活発なのかを概観できます。

2022年9月

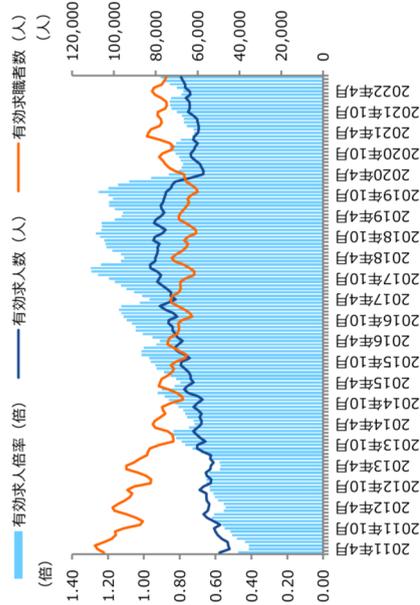


【出典】 ビザ・ワールドワイド・シヤチ株式会社のカードデータを再編加工
 【注記】 消費額は、外国人訪問客がクレジットカードを使用した消費額を地域別のシェア率等から算出した金額。
 国・地域は、カード所有者の居住地域であるため、観光客以外の住者一定住者による消費額も含まれる。

①有効求人倍率の推移【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (ダウンロードデータ作成)

- 有効求人倍率、有効求職者数、有効求人倍率の推移を示しています。
- 自地域における雇用環境の変化を概観できます。

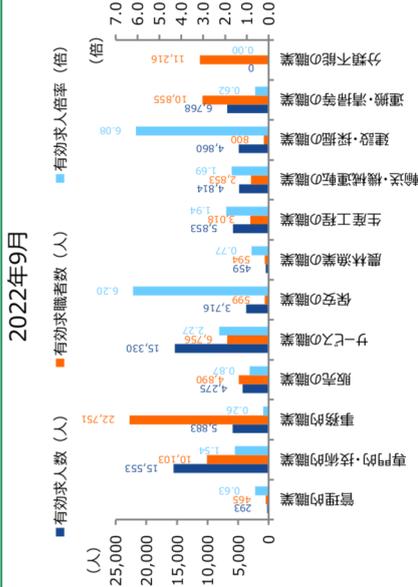


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

②有効求人倍率 (職種間比較)【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (ダウンロードデータ作成)

- 職種別に有効求人倍率、有効求職者数、有効求人倍率を比較します。
- 職種間の有効求人倍率の違いを概観できる他、求職者数と求人数のミスマッチが生じている職種とその大きさを確認できます。

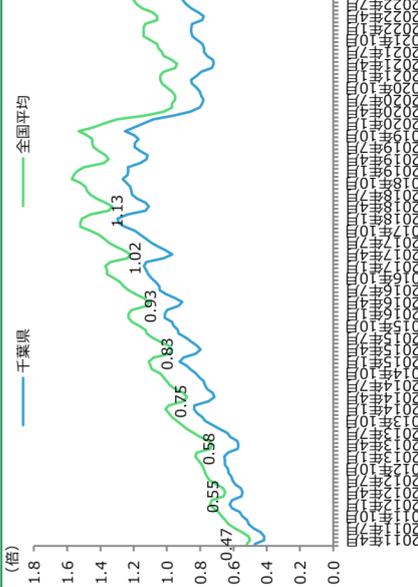


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

③有効求人倍率推移 (地域間比較)【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (ダウンロードデータ作成)

- 有効求人倍率の推移を全国、他地域等を比較しています。
- 自地域における雇用環境が全国や他地域と比較してどのような状況にあるかを概観できます。

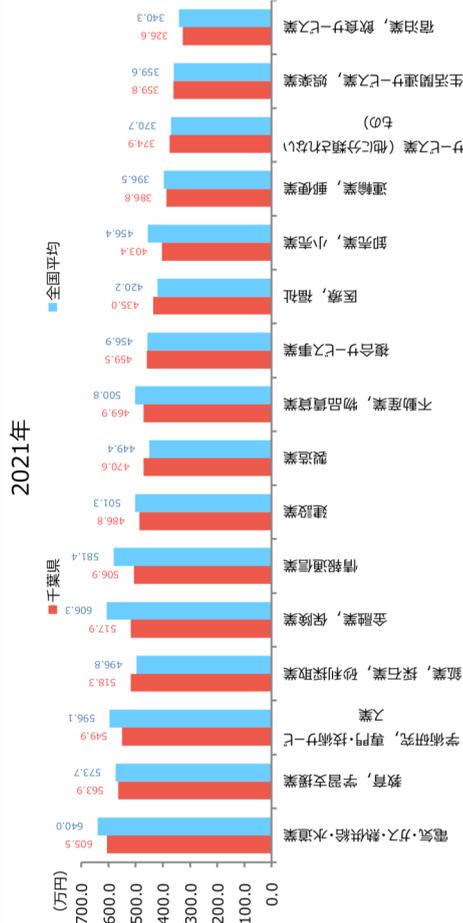


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

④一人当たり賃金 (産業間比較)【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たり賃金 → グラフを表示 (ダウンロードデータ作成)

- 産業別に一人当たり賃金を比較します。
- また、全国平均との比較により、全国よりも賃金水準の高い産業・低い産業を概観できます。



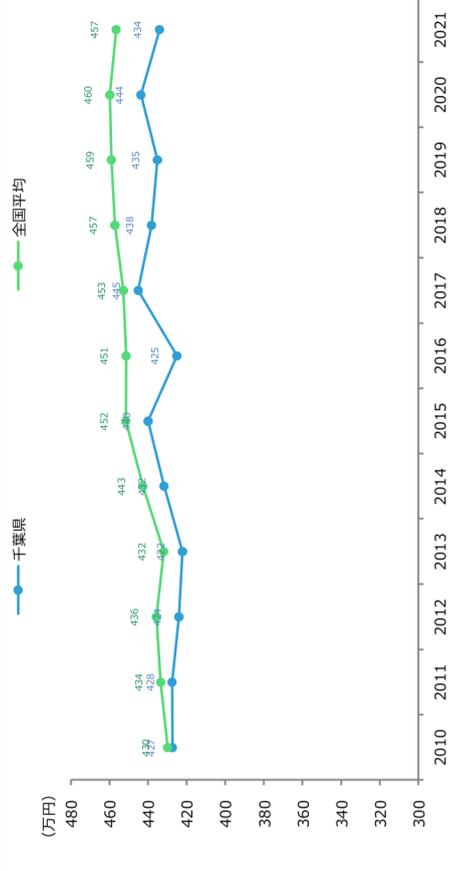
【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤一人当たり賃金 (地域間比較)【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たり賃金 → グラフを表示

- 一人当たり賃金を地域間で比較します。
- 自地域における賃金の傾向把握の他、賃金に関する政策実施が与えた影響等の把握に利用できます。



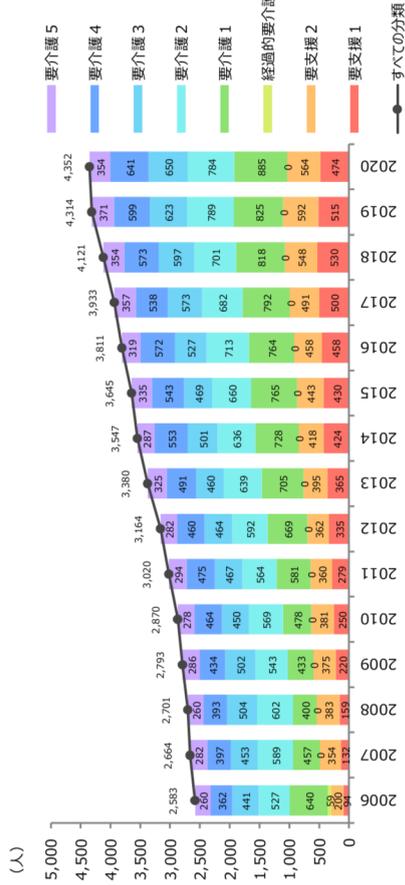
【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※シート上のグラフは、すべて都道府県単位の数値となります。

① 要介護（要支援）認定者数の推移【保険者単位】

医療・福祉マップ>>医療供給 → クラウドワークス>>介護需給 → クラウドワークス>>介護需給

・福祉サービスの検討において重要な検討材料となる要介護（要支援）認定者数の推移を示しています。

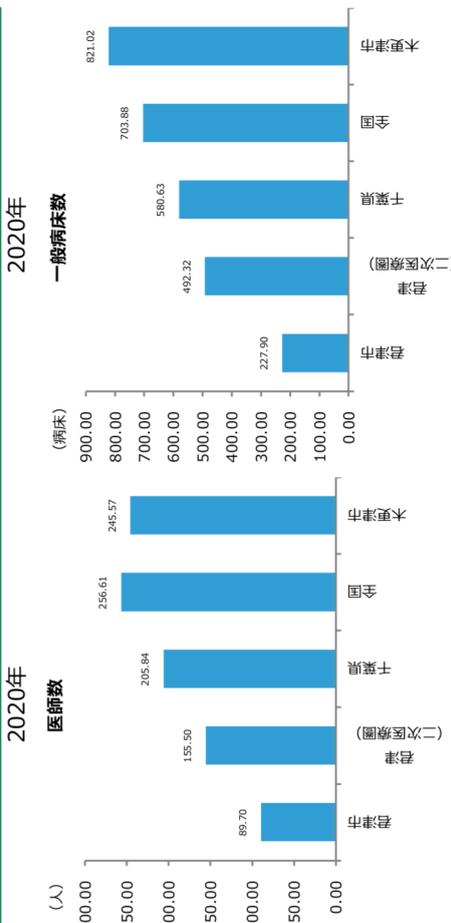


【出典】厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」
 【注記】要介護（要支援）認定者数は、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。
 要介護認定制度及び要支援・要介護度の区分については、下記URLを参照のこと。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo_koureisha/ninte1/index.html

② 人口10万人あたり医師数・一般病床数（地域間比較）

医療・福祉マップ>>医療需給 → クラウドワークス>>医療需給

・人口10万人あたりの医師数・一般病床数を示しています。
 ・全国および他地域と比較することで、自地域の水準を把握できます。

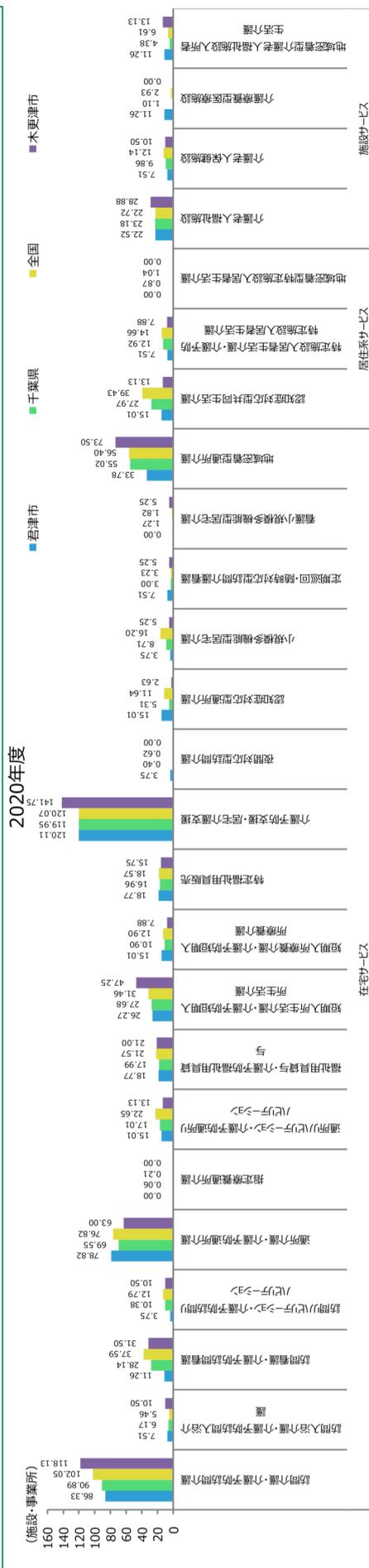


【出典】厚生労働省「医療施設静態調査」、「医師・歯科医師・薬剤師統計」（2018年分）、「衛生行政報告例」、「患者調査」、総務省「人口推計」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 【注記】対象地域が市区町村単位の場合、グラフは、対象地域、対象地域の属する二次医療圏、都道府県、全国の順と比較している

③ 65歳以上人口10万人あたり介護施設数・事業所数（サービス種別・地域間比較）

医療・福祉マップ>>介護需給 → クラウドワークス>>介護需給

・施設・居住系・在宅サービスの供給水準として、65歳以上人口10万人あたりの介護施設数・事業所数をサービス種別に示しています。
 ・全国水準等と比較することで、自地域の水準を把握できます。



【出典】厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」、「介護サービス施設・事業所調査」
 総務省「人口推計」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 【注記】グラフは、対象地域、都道府県、全国の順と比較している。

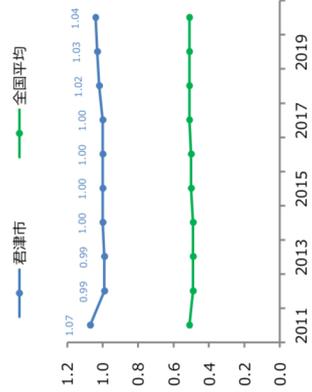
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

① 各種財政指標の比較分析

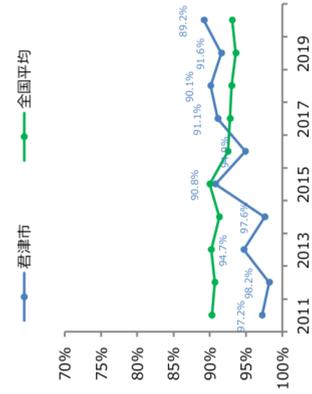
地方財政でワフ>自治体財政状況の比較 → ①「地域間で比較する」

- 自治体の財政状況を示す主要な財政指標（財政力指数、実質公債費比率等）の推移を示しています。
- 全国平均との比較を行うことで、自地域の財政状況の健全度を分析することができます。

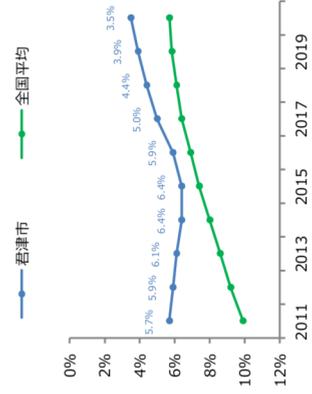
財政力指数



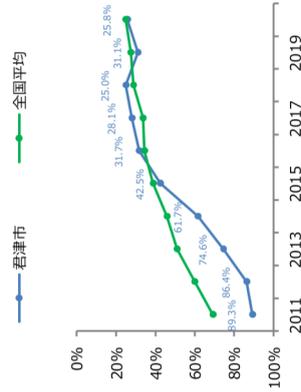
経常収支比率



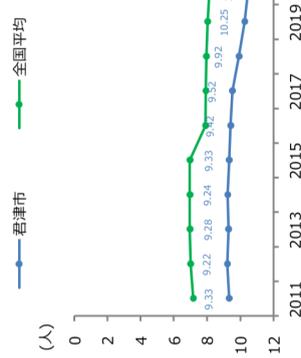
実質公債費比率



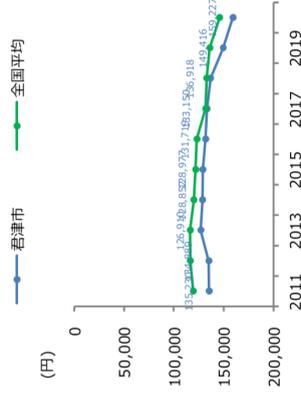
将来負担比率



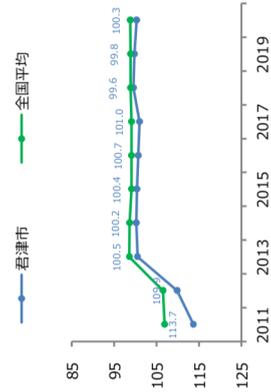
人口あたり職員数



人口1人あたり人件費・物件費等の決算額



ラスパレス指数



財政指標	2020年度	順位
財政力指数	1.04	都道府県内 7/54
経常収支比率	89.2%	19/54
実質公債費比率	3.5%	13/54
将来負担比率	25.8%	31/54
人口あたり職員数	10.49人	40/54
人口1人あたり人件費物件費等の決算額	159,227円	34/54
ラスパレス指数	100.3	27/54

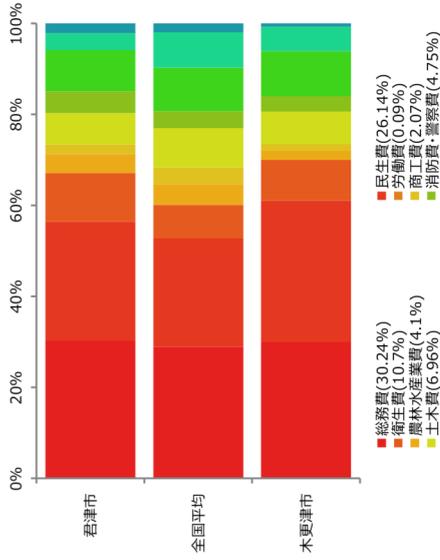
【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」
 【注記】人口あたり職員数：都道府県の場合は人口10万人、市町村（特別区を含む）の場合は人口千人あたりの職員数。

② 目的別歳出決算額の比較

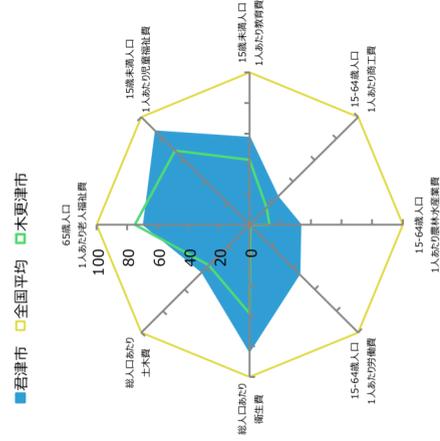
地方財政でワフ>自治体財政状況の比較 → ②「目的別歳出を見る」

- 自地域の歳出額を目的別に示しています。構成比および人口あたり水準の面から、自地域の歳出構成の特徴を概観することができます。

構成比の比較（2020年度）



人口あたり水準の比較（2020年度）



【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」
 総務省「住民基本台帳に基づき人口、人口動態及び世帯調査」
 【注記】凡脚の数値は選択地域の数値を指す。